

事例検討（架空事案）

1 概要

中学2年生の男子Aは、最近授業中もぼんやりしており、提出物の遅れや忘れ物が増えていた。給食もほとんど食べず、パンやおかずを制服のポケットにこっそり入れている様子が担任に目撃された。

Aの家庭は母子家庭で、母親は夜遅くまで飲食店で働いており、帰宅は深夜になることが多い。母親は持病もあり体調を崩しやすく、生活は経済的にも精神的にも不安定だった。また、Aは家で一人で過ごす時間が長く、夕食はインスタント食品が多い。制服や体操服もいつも同じもので、汚れやにおいを同級生から「くさい」「汚い」とからかわれることが日常的にあった。

そんな中、同級生Bから「最近Aが、学校帰りに近くの公園で3年のC先輩に呼び出されている。金を渡しているのを見たっていう友達がいる。」と担任に相談があった。さらに、SNSでは「Aは毎日先輩に小遣い献上w」など、Aを面白がって晒すような書き込みが複数見られ、担任にもその画面が報告された。

2 学校の対応

- ・担任がAに個別に話を聞こうとしたが、Aは「別に何もない」と言って視線をそらした。
- ・しかし保健室に来る回数が増え、養護教諭に「お腹が痛い」と訴えることが多くなった。
- ・担任が母親に連絡したところ、母親は「最近お金の減りが早いけど、息子は何も言わない。私も体調が悪いし、仕事も減らされて…正直それどころじゃない」と泣き出した。

3 協議の視点

- ・Aに対する継続的な支援について。
- ・先輩Cに対する対応について。
- ・SNSでのからかい・拡散についての対応。
- ・家庭への働きかけと見守りについて。
- ・地域やPTAとの連携について